【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2019-204655(P2019-204655A)
【公開日】令和1年11月28日(2019.11.28)
【年通号数】公開・登録公報2019-048
【出願番号】特願2018-98628(P2018-98628)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　2/20　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　2/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　2/20　Ａ
Ｈ０１Ｍ　2/10　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和2年9月29日(2020.9.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
このような構成によると、総正極バスバ側と総負極バスバ側の両側において第１蓄電素子群と第２蓄電素子群の電力を供給することができる。すなわち、総正極バスバ側と総負極バスバ側の両側に電力を供給するために、電線の増加による重量増加や、電線の配索スペースの確保による電源装置の大型化を抑制することができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
＜実施形態＞
本明細書に開示された技術における一実施形態について図１を参照して説明する。
本実施形態は、例えば、電気自動車やハイブリッド自動車等の車両に搭載されて、車両を駆動するための動力源として使用される電源装置１０を例示している。なお、以下の説明において、前後方向とは、図１における上下方向を基準として図示下側を前側、図示上側を後側とし、左右方向とは、図１における左右方向を基準として説明する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
すなわち、第２蓄電素子群４０は、一対の第２外部端子４８を有し、一対の第２外部端子４８のうち第２正極外部端子４８Ｐが、第２蓄電素子群４０の後側端縁における左側の端部に設置され、第２負極外部端子４８Ｎが第２蓄電素子群４０の後側端縁において左側の端部とは反対側の右側の端部に設置されている。
【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
本実施形態における第１蓄電素子群２０と、第２蓄電素子群４０とは、前後方向に隣り合う配置とされており、第１蓄電素子群２０の第１正極外部端子２８Ｐと第２蓄電素子群４０の第２正極外部端子４８Ｐとが前後方向に隣り合うと共に、第１蓄電素子群２０の第１負極外部端子２８Ｎと第２蓄電素子群４０の第２負極外部端子４８Ｎとが前後方向に隣り合うように配置されている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
また、本実施形態によると、総正極バスバ６０Ｐは、総負極バスバ６０Ｎ上を通って電源装置１０の右側外方に引き出される電線Ｗが接続される正極側右接続部６４Ｐ１と、電源装置１０の左側外方に引き出される電線Ｗが接続される正極側左接続部６４Ｐ２とを有している。
一方、総負極バスバ６０Ｎは、総正極バスバ６０Ｐ上を通って電源装置１０の左側外方に引き出される電線Ｗが接続される負極側左接続部６４Ｎ１と、電源装置１０の右側外方に引き出される電線Ｗが接続される負極側右接続部６４Ｎ２とを有している。